

連絡先 2022年 1月30日号
 杉野 修 58-9010 渡辺昌代 21-9058
 石田利春 52-7260 平間益美 23-9519
 【議員団控室（市役所5F）の住所・久喜市下早見85-3】
 「日本共産党久喜市議団ブログ」更新中です

2月議会

知っておきましょう！ 自宅療養 久喜市ホームページより

新型コロナウイルス感染症により自宅療養される方へ食料品等をお届けします

久喜市は、自宅療養となられた方への支援に必要な個人情報（氏名、住所、連絡先等）の情報提供を受け、新型コロナウイルス感染症によって自宅療養となった方等を対象に、療養生活の不安を軽減するため、食料品、衛生用品等の支援物資や「パルスオキシメーター」をご自宅にお届けします。

対象者

久喜市に居住しており、次のいずれかに該当する方のうち、
 家族や親類等による買い物支援が受けられない方

1. 新型コロナウイルス感染症の陽性者で自宅療養をしている方
2. 保健所から濃厚接触者として自宅待機を要請されている方

支援の流れ

自宅療養者となられた方及び同居の濃厚接触者

- ① 自宅療養者となられた方に健康医療課から電話で連絡をします。
- ② 自宅療養パックの希望や濃厚接触者の有無、パルスオキシメーター等のお届け先について確認をさせていただきます。
- ③ 感染防止の観点から対面での受け渡しを避けるため、自宅療養パックやパルスオキシメーターの配送前に電話連絡し、玄関先に配達する「置き配」でお届けします。

上記以外の濃厚接触者となられた方

1. 平日の午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分までに、健康医療課にお電話でお申し込みください。
2. 保健所に濃厚接触者であるかどうか確認をさせていただきます。
3. 感染防止の観点から対面での受け渡しを避けるため、自宅療養パックの配送前に電話連絡し、玄関先に配達する「置き配」でお届けします。

※メール・FAX でお申し込みの場合は連絡先を明記してください。

申込受付後、市から配送日等の確認のため、健康医療課からご連絡をさせていただきます。

【申し込み先】久喜市健康医療課電話：0480-22-1111（内線 5670）

2月議会の日程

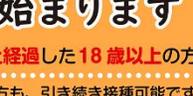
| 日付 | | |
|-------|-----|----------------|
| 1月25日 | 本会議 | 議案の提案、市長所信表明等 |
| 2月6日 | 〃 | 各会派より市長への代表質問 |
| 2月7日 | 〃 | 一般質問 ②平間議員 |
| 2月8日 | 〃 | 一般質問②石田議員④杉野議員 |
| 2月10日 | 〃 | 一般質問 ② 渡辺議員 |
| 2月14日 | 〃 | 一般質問 |
| 2月16日 | 〃 | 議案に対する質疑、 |
| 2月17日 | 委員会 | 総務財政市民常任委員会 |
| 2月18日 | 〃 | 福祉健康常任委員会 |
| 2月21日 | 〃 | 建設上下水道常任委員会 |
| 2月22日 | 〃 | 教育環境常任委員会 |
| 3月2日 | 本会議 | 議案への討論・採決 |

◆市議会議員選挙・市長選挙が4月に行われる関係で、2月議会の日程が通常よりも早くなっています。ぜひ傍聴におこし下さい。開会は9時です。

レトルト食品、缶詰め、
 パスタ、カップ麺、飲料



（衛生用品）
 マスク、消毒液など

新型コロナワクチン追加接種  
3回目接種が始まります
 対象 2回目接種から原則8か月以上経過した18歳以上の方
※1,2回目未接種の方も、引き続き接種可能です

PCR・抗体検査

無料で実施中の薬局（2月25日現在）
 （実施店は、今後ふえる可能性があります。）
 必ず、事前にお問合せしてください。

ウエルシア薬局 菖蒲店
 久喜市菖蒲町三箇 529
 TEL：0480-87-2007

セキ薬局 久喜中央店
 久喜市本町 8-5-35
 TEL：0480-29-5300

共創未来 南栗橋薬局
 久喜市南栗橋 1-9-2
 TEL：0480-55-1361

明倫堂薬局(久喜)
 久喜市菖蒲町上栢間
 3189-5
 TEL：0480-87-0505

もし、自分が自宅療養になったら？

杉野おさむ

久喜市 桜田3丁目
7-1-504



1. アリオ方面への道路に反射板の設置を

わし宮団地前の市道6号線パチンコ店とコンビニの間から商業施設アリオ方面に抜ける市道1513号線は、交通安全対策の施設がほとんどない。夜も暗く、車が歩行者、自転車とすれ違うにも路肩に標識もなく白線を頼りにしている。接触事故もあった。小さな反射板でも、並ぶと誘導灯になる。ぜひ設置を。

2. 久喜市内に避難している3・11避難者に

税の減免など支援策を継続するよう求める

3・11、東日本大震災、福島原発事故からの避難民が久喜市に大勢暮らしている。国保税、介護保険料、水道料金、医療費などが軽減されてきた。終了になるものがあるなら、ぜひ市独自の支援で継続をさせるべきでは。

3. 新型コロナウイルスオミクロン株の感染防止対策を

おこない、陽性者を最小限に食い止めよ

いま、第6波の感染がすさまじい勢いで拡大している。国も、県も、久喜市でも、5波の反省や総括が不十分なまま、あらたな株に対応することを求められている。あまりの陽性者の数に、医療機関でも保健所からの要請にこたえられず、一般診療はもちろん、自宅療養者への訪問診療や健康観察にも大きな障害が出ている。在日アメリカ軍からのオミクロン株の感染拡大がすさまじい。国民、市民の健康と命をまもる立場から検疫も抜かれる「日米行政協定」は見直すように、市長会からも声を上げるべきだ。

4. イオン閉店による桜田地区「買い物弱者対策」を

鷲宮桜田のイオン（旧ダイエー）が4月閉店になるが、高齢者はじめ、「買い物弱者」対策は重要である。情報提供や、対策の具体化に向けて、住民と行政が力を合わせるときではないか。

平間ますみ

久喜市本町8-4-1



1. 住宅リフォーム助成制度創設を求める

住宅リフォーム助成制度が、地域に及ぼす経済効果は大きく、国もこの住宅リフォーム助成制度を推進しています。しかし、要望に対して前向きな姿勢を見せていません。改めて住宅リフォーム助成制度の創設を求めます。

2. 小・中学校給食費の無償化を求める

2019年4月から市内小中学校に通う児童生徒の給食費が、第3子に限り無償になりました。日本共産党が毎年要望してきた完全無償化に向けての第1歩として高く評価をしますが、すでに実施から3年が経過しようとしています。子育てに対する久喜市の取り組みとして、第1子、第2子を含めすべての児童生徒の給食費の無償化を求めます。

3. カラス被害に対する取り組みについて問います

カラスやムクドリ被害対策は久喜市だけではなく、他の自治体にとっても大きな課題となっています。これまでの久喜市の取り組みについて聞きます。

4. 通学路における交通安全対策について

通学路の安全対策については議会で、また、市民からも数多くの要望が出されています。けやき通り、吉羽大橋から青葉中央通り方面も安全対策が必要です。市内全体の安全対策を求め質問します。

市民の暮らしに根差した一般質問を通告しました！

石田としはる

久喜市栗橋東5-7-21



1. 済生会栗橋病院から秋谷病院への円滑な医療継続を願う

移転時期が迫る中、オミクロン株による急拡大の影響。秋谷病院の開院の予定。済生会加須病院や新久喜病院への足の確保、ふれあいタクシー・デマンド交通の拡充を求めます。

2. 本庁舎建設は見直し中止に。栗橋市民プラザの計画は

◆久喜の本庁舎建設、税金の無駄使い。保健センター統合し地域からなくすのは許せない。見直し中止すべき。◆栗橋市民プラザ建設。どこに建設し、どんな施設となるのかまったく知らされていない。詳細な説明を求め、問題点を質問します。

3. 大規模水害 バスでの避難体制実効性を求めて

「洪水避難決断ブック」に掲載された「☆1つの指定避難所」へ確実にバスが配車される取組を求めます。避難訓練でも・・・。

4. 栗橋地域の環境整備、地域の要望に応じて実施を

◆間鎌地域にあった「第一幼稚園」更地になりました。この土地は「公共の為に」と寄贈されたもの。「子ども達の遊び場やウオーキングの憩いの場所に」との要望です。実現を求めます。

◆栗橋ハイツから新町に抜ける道路。排水路を暗渠にして安全な通行ができるよう道路へ。環境整備を求めます。

5. ワクチン接種、前倒しに伴う対応を問います。

予約体制、ワクチンの供給状況、交通弱者への対応など・・・。

渡辺まさよ

久喜市所久喜705-311



1. 公立保育園の民間譲渡は止めて公的責任を果たせ

久喜市の公立保育園は昭和42年からの古い歴史があり、子ども達の生活と学びを支えてきた。保育士は市の採用試験に合格し一定のレベルもあり、質は保たれ、公立の保育を望む保護者は多い。取り残される家庭が出てしまうのでは無いか。民間譲渡は止めるべき。

2. 国民健康保険の均等割はなくすべき

国保制度は何度も改悪され、保険料は高い。問題点として子どもにまで均等割があることだ。均等割額をなくし負担軽減をすべきではないか。

3. アレルギー食の費用負担に一定のルールをして負担軽減をすべき

現在、食物アレルギーがある児童生徒の学校給食は食べられない献立や、食べられない日があっても全額支払い、返金もできていない。食べられない日は代替え食を持って行くので費用負担は嵩んでいる。ルールを決め返金をすべき。

4. 公共交通の改善を

くきふれあいタクシーは交通弱者のにとって必要であるのに予約が取れない現状だ。台数を増やし改善を、さらに久喜地域にもデマンド交通を走らせるべき。

5. 保健センターを一つに統合することは市民の健康増進に背を向けることになる 止めるべきだ。